

マスターズ陸上の年齢ごとの記録の変化についての研究 ー特に日本と世界の差についてー

小澤 雅彦 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 金森 雅夫

キーワード：マスターズ 世界記録 日本記録

1. 諸言

陸上のウサイン・ボルトが 100m 走で 9.58 という驚異的な記録を出し、日本のハンマー投げの室伏広治選手の、大邱で行われた世界陸上での金メダル等で国民にスポーツの関心、感動を与え、世間でも大変な盛り上がりを見せた。日本でも年々競技レベルも高くなり、テレビの露出が多く注目されている。また、年末から年明けにかけの高校駅伝、大学駅伝、実業団駅伝は日本の伝統行事とも言えるであろう。

しかしマスターズ陸上は注目されることがほとんど無い。そこでマスターズの記録がどのように変化しているか気になったので調べることにした。

2. 研究方法

各種目を男女別々で記録の変化を日本記録と世界記録で折れ線グラフにして表し、日本記録と世界記録の年齢ごとの変化を見比べて、世界と日本の差がどの年齢だと近づいている、または離れている等を見て考察する。

3. 結果と考察

日本は跳躍では世界記録を多く持っているが、他の種目では男女ともに大きな力の差を見ることができた。

国によって得意種目が違うことが要因と考える。例えば世界陸上やオリンピックで見るとエチオピアやケニアの選手は長距離が強く、ジャマイカやアメリカの選手は、短距離が強いように、マスターズでは日本の選手は跳躍種目で世界記録を多く更新していることから、

跳躍種目が強いが、やはりマスターズでもトラック種目で世界と戦うということが厳しいということが結果からわかる。

また 100 歳以上の世界記録がない種目等があり、競技者がまだ少ないということが考えられる。

4. まとめ

本研究を通じて普段私たちが目にすることがないマスターズの記録を見てきたが、若い世代はプロのランナーには及ばないが、非常にレベルが高いレベルで競技を行っていると感じたが現在 22 歳の筆者から見て、歳を重ねるごとに記録自体はとても平凡になっていくと感じたが、それが日本のトップということは、自分がその歳になっていざ競技を行うとすると、その記録以下になってしまうと思う。

今後時代が進み、さらに高齢化が進み競技人口が増えるとともに、道具も身の回りの環境も進化するだろう。そうしたとき、世界記録や日本記録は各年齢でどれほど伸びるのか興味深いと思った。

主要参考文献

1. 日本マスターズ陸上競技連合

<http://www.j-master.gr.jp/>

2. WORLD MASTERS ATHLETICS

<http://www.world-masters-athletics.org/>

3. 新星出版社編集部(2009)

SPORTS シューズのひみつー陸上、野球、サッカー、バスケ、テニス etc. 各種スポーツシューズの歴史や秘密、新星出版社 p.22